

## アクバル・バチャ 研究員（パキスタン）



こんにちは！私はパキスタンから来ましたアクバル・バチャと申します。母国のパキスタンでは国家防災局（NDMA）の課長補佐として働いています。私は防災学と行政学の分野を修了し、現在所属している NDMA では緊急計画の整備、緊急時のオペレーション、外国人支援活動などを担当しています。

パキスタンの地形や気候は多岐にわたっています。例えば、地形的には多くの海岸線を有し、平地、台地、高地などを見ることができます。一方で、気候的にはとても脆弱で地域で、気候変動の影響を受けやすい国でもあります。災害という側面では、地震、洪水、氷河湖決壊（GLOF）、地滑り、サイクロン、干ばつ、寒波などのこれまでも多くの被害を受けてきました。自然災害に対する防災対策としては、2005年10月にカシミール地方で発生したパキスタン大地震を契機として、パキスタン政府は新しい防災法を制定しました。これに続き、2007年には国家防災計画が発表され、具体的な活動記述を含む防災行動 2010 がここに明記され、国、州、県市での役割についても記載されています。

防災行動 2010 においては、国家防災委員会（NDMC）は防災に係る国家防災計画や関連法案を実行する主たる機関として記載されています。NDMC はパキスタン国の首相をトップにして、すべての州の上級代表、議会の上下院の野党の党首、軍の代表、市民団体および NGOs の代表によって構成されます。

今回、客員研究員としての機会を頂いたパキスタン国の防災局と ADRC に感謝を申し上げます。滞在期間中は、「パキスタンにおける防災教育の役割とニーズ」を研究テーマとして研究の活動をしたいと思います。日本は歴史的にも多くの災害の経験があり、防災対策についても、関連計画の立案や早期警報など、先進的取り組みが対応されていると思います。これらの経験や知識は、きっと私の研究に役立ち、パキスタン国の防災局においても貢献できると思います。

最後になりますが、改めまして関係各位皆様、客員研究員の皆様にもお礼を申し上げます。